

# 画家と旅 — 画家たちは異国で何を見たか

古来より旅をする画家は多く、それは洋の東西を問いません。美術史では、画家の移動に伴って、絵画の技法や様式が広く伝播していく例が知られています。また、画家の人生において、旅が重要な逸話として語られることもよくあります。

日本では明治時代以降、数多くの画家が海を越えて世界の各地に旅立ちました。渡航の目的は、留学・取材・観光・従軍など画家によって異なり、その期間や行き先も多岐にわたります。それでは、身近な鳥取県の画家たちはどうだったのでしょうか。

本展では、鳥取県出身の洋画家と日本画家のうち、明治時代後期から昭和時代前期にかけて、欧米やアジア、南洋群島に渡航した画家の作品を出品します。なかには長い年月にわたって海外に滞在した画家もありますが、今回の展覧会では、永住を目的としない移動を「旅」とみなし、画家の活動に与えた影響を考えます。

画家たちは、社会環境や歴史、自然の異なる土地にあって、何を見て、何を感じたのでしょうか。本展が、異国での体験が画家たちにもたらしたものについて、改めて考える機会となれば幸いです。



## 関連事業のお知らせ

### ギャラリートーク

当館学芸員が、本展出品作品について解説します。

日時:3月10日(土) 14:00~14:30 参加費:観覧料

会場:2階 近代美術展示室 定員:なし

### アートセミナー「伊谷賢蔵の描いた中国」

鳥取県出身の洋画家・伊谷賢蔵(1902~1970)が、日中戦争下の中国で描いた作品を紹介します。

日時:3月17日(土) 14:00~15:30 聴講料:無料

講師:当館学芸員 会場:2階 会議室 定員:40名

### 企画展情報

#### 「鳥取鉄道物語 — 山陰線開通100年 —」

会期:2月11日(土・祝)~3月20日(火・祝)  
※2月20日(月)、2月27日(月)は休館日  
会場:2階 第1・2特別展示室



〒680-0011 鳥取県鳥取市東町2丁目124  
TEL:0857-26-8042 FAX:0857-26-8041  
http://www.pref.tottori.jp/museum/homepage.htm  
E-mail:hakubutsukan@pref.tottori.jp



### アクセス

- JR鳥取駅からバスで
  - (1) 100円バス「くる梨」青コース  
「⑮仁風閣・県立博物館」下車すぐ
  - (2) ループ麒麟獅子Aコース  
「④鳥取城跡」下車すぐ(土・日・祝日のみ)
  - (3) 砂丘、湖山、賀露方面行  
「西町」下車、約400m
  - (4) 市内回り岩倉行・中河原方面  
「わらべ館」下車、約600m
- JR鳥取駅からタクシーで約10分
- 当館駐車場21台駐車可能  
(なるべく公共交通機関をご利用ください)

1	3
2	
4	5

- |   |      |               |              |          |
|---|------|---------------|--------------|----------|
| 1 | 森岡柳蔵 | 《ロスアンジェルス郊外》  | 1925(大正14)年  | 個人蔵      |
| 2 | 香田勝太 | 《ノートルダム・ド・パリ》 | 1928(昭和3)年   | 鳥取県立博物館蔵 |
| 3 | 前田寛治 | 《ブルターニュの女》    | 1925(大正14)年  | 個人蔵      |
| 4 | 笹鹿彪  | 《胡弓》          | 1936(昭和11)年頃 | 鳥取県立博物館蔵 |
| 5 | 伊谷賢蔵 | 《山河に挑む》       | 1943(昭和18)年頃 | 鳥取県立博物館蔵 |